

2022年度 一般選抜中期日程／経済・公共マネジメント学科 英語  
出題の意図と解答の傾向

I (160点)

英語を実際に使用する能力が身につけているかを見るために、設問もすべて英語とした。

問1 (35点)

【解答例】

産業革命期のイギリスで、中産階級が台頭し、比較的安価な交通手段が利用できるようになった。第2次世界大戦後は民間航空会社が誕生し、1950年代にジェット機が開発され、海外旅行が急速に普及・拡大した。

【解答の傾向】

正答できた人とそうでない人で、点数に差がついた。

下線部(1)に続く、“Historians suggest that ～”以降の英文を要約することによって正解が得られる。しかし、英文をうまく訳出できなかったため、正確に解答できていない受験生が多かった。多かった誤答として、「一般大衆の旅行 (mass tourism)」を「大規模なツーリズム」「多くの旅行産業」などと訳したもの、「産業革命 (the industrial revolution)」を「工業の革命」「商業の革命」「産業の革命」と訳したもの、「営利目的の航空産業 (the commercial airline industry)」の commercial を「宣伝」「広告」と訳したもの、「第二次世界大戦に続く (following the Second World War)」を「続く第二次世界大戦」と訳したもの（起こる順番が逆）などがあった。

問2 (20点)

【解答例】

国際観光は、新たな雇用機会を提供しただけでなく、外貨獲得の手段にもなった。

【解答の傾向】

it は、文の前半部にある “international tourism” (国際観光) を指しているが、正しく解答できていなかった受験生が多かった。「海外旅行」と訳した回答が多く見られたが、これは主として日本から海外に出国するアウトバウンド観光に用いる用語である。“not only ～ but also” の構文は、頻出する表現であることもあってか、ほとんどの解答者が正しく訳せていた。

### 問3 (15点)

#### 【解答】

e (in both economic and social importance)

#### 【解答の傾向】

正しく解答できている学生が多かった。当該段落の内容を理解し、特に段落末尾の文章に気づけば、正解にたどり着けただろう。一部 d を選択した学生もいたが、人的交流に関する説明はない。

### 問4 (20点)

#### 【解答例】

いくつかの先進国ではその存在はほとんど認識されていないが、サービス産業の中でも最も大きな分野の一つが旅行観光業である。

#### 【解答の傾向】

“these countries” は、前文の “industrialised countries” を指している。

文章の構造が十分理解できていないような誤答が散見された。“One of the largest segment of the service industry ~ is travel and tourism.” が主節で、その間に although から始まる従属節が挿入されている。しかし、主節と従属節とを明確に区分できていない解答や、主語と述語が正確に判別できていない解答も少なからずあった。

語彙に関しては、entity (存在) や segment (区分) を訳すことに苦労している印象であった。前者を entire、後者を significance と誤解したと思われる誤答も一定数あった。

### 問5 (20点)

#### 【解答例】

これらのビジネスの多くは地元住民にもサービスを提供しているため、観光客による消費の影響は見落とされたり、過小評価されたりすることがある。

#### 【解答の傾向】

まず、Since が「理由 (～のため)」を表す接続詞であることに気づくことが重要である。これを、「時 (～以来)」を表す接続詞として訳出していた解答が比較的多く見受けられた。次に、serve (サービスを提供する)、spending (消費)、overlook (見落とす)、underestimate (過小評価する) などの主要な単語について、前後の文脈を考慮した上で適切に訳出することが必要である。とりわけ、spending や underestimate の誤訳が散見された。

問6 (15点)

【解答】

ア. similar                      イ. are                      ウ. domestic

【解答の傾向】

正答率は低く、スペルミスも多かった。ア、イ、ウ、3問とも正解した人は2割未満であろう。

イは、when 節が受動態となると考えると、are が正解となる。主語が attempts となっているにもかかわらず、is と解答したものが散見された。

ウは、この中では比較的正答率が高かった。

問7 (20点)

【解答】

A. avoid                      B. played                      C. estimated                      D. quoting

【解答の傾向】

Aは、vacation の話題なので、夏の暑さを「避ける」と考えて、avoid を選ぶ。

Bは、空所の後に role があるので、「役割を演じる(play a role)」となるが、play の過去形を plaiied と書いている回答が散見された。y で終わる動詞の直前が母音の時はそのまま-ed をつけるのは、中学で習う英語の基礎であり、十分身につけていてほしかった。

Cは、後に数値が続いていることから estimate (見積もる) を選び、直前に was があるので過去分詞にすればよい。

Dについて、ほとんどの学生が-ed 形で解答していた。コンマで挟まれた挿入句になっており、分詞構文だと考えて現在分詞(-ing)が正しい。

問8 (15点)

【解答】

d (The travel and tourism industry is now a huge business, but it is impossible to say exactly how it affects the global economy.)

【解答の傾向】

誤答では b が多かった。旅行産業が巨大な産業となったことは本文に記されているが、それがサービス産業の急速な発展によるものだという事は、課題文には記されていない。

